一般質問

11月定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコード決済について

常田　賢二 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 ①上海便就航に向けてアリペイ・ウィーチャットペイ（※2）対応店舗を増やし、ポスターやポップ広告等で中国人観光客に認知してもらう体制整備が急務では② QR コードの早期規格統一を国へ要望してほしい③キャッシュレス推進協議会へ参加を。

答 ①9月の補正予算の誘客倍増プランで支援措置をとった。さらにポップ広告も含めて応援させて頂きたい②規格統一の要請活動を国、政府側にもやっていきたい③年明けにも協議会へ加盟させて頂きたい。

インフラと国土強靭化、クマ対策、人材育成

山口　雅志 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 ①災害改良復旧について②鳥取港整備について③クマ対策について④中学校の形式卒業問題について。

答 ①国に要件緩和、河川・農業施設連携対策を要望する②国の直轄工事として検討いただけるよう要望している。地域の需要を取り入れ鳥取港港湾計画を見直す③市町村連携強化、保護個体数見直し、周辺他県連携強化等クマ特化対策を進める④（教育長）子どもを中心に置き、様々なニーズをとらえ夜間学校をどうすべきか検討を進める。

健康づくりで幸齢社会 再生可能エネルギー

銀杏　泰利 議員
選挙区　鳥取市
会　派　公明党

問 ①健康寿命を延ばし、高齢者が幸せに年を重ねる幸齢社会に②「とりっぽ」の推進③全町内会、集落で健康マイレージ、健康づくりの事業等を④アレルギー拠点病院設置を⑤再生可能 E の普及啓発の取組は。

答 ①健康づくり文化として定着させ幸齢社会を目指す②ウォーキングアプリは、当初予算に向け検討始めた③市町村ともよく協議し展開を強める④年明けに選定し、1病院でも認定に⑤ RE100（※1）のアンバサダーとして県も宣言する。

鳥取県の漁業振興について

澤　紀男 議員
選挙区　米子市
会　派　公明党

問 2018 漁業センサスが発表された。全国で漁業従事者の減少は一段と進んでいる。その中で鳥取県の漁業従事者数は特に 20 ～ 29 歳の年齢構成比で全国平均より 4.5 ポイント高くなっている。鳥取県の漁業担い手育成事業の現状と漁業就業希望者が使いやすい制度への見直しについて伺う。

答 鳥取県では漁船のリース事業などの政策により若い就業者が増えている。独立型研修についても3親等以内の親族も対象とするよう制度の見直しを早急に検討する。

ふるさと新時代づくりへの予算編成方針は？

島谷　龍司 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 Society5.0 時代を迎え、ふるさと新時代の実現に向けて新年度予算編成についてどのように取り組んでいくのか。

答 ふるさと新時代実現のために、本県の得意分野である福祉領域への Society5.0 の導入など安心をテーマに切り込むとともに、人口最少、開発遅れなど本県のハンディと考えられていたことをメリットと捉えて、市町村などと協働しながら、ふるさとの新しい時代を導く地方創生の戦略を取りまとめ、新年度予算に反映する。

①芝生王国について ②社協について

語堂　正範 議員
選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

問 ①県産芝が新国立競技場に導入された。日本一の品質を誇る鳥取県の芝生を大きな魅力として発信しては？②社協は地域福祉の実現を目指す組織である。しかし、運営は厳しくなっている。財源措置を国へ要望するべきではないか？

答 ①芝生生産の応援を県としても果たしていきたい。日本を代表する芝としてシンボリックに県特産として推奨する②地域福祉の財源措置、財政基盤の確立について政府にも働きかける。

※1 RE100：使用する電力の 100%を再生可能エネルギーで調達すること
※2 アリペイ、ウィーチャットペイ：中国の主要なモバイル決済サービス

一般質問

①外国人サイクリスト対応 ②製材業支援策

松田　正 議員
選挙区　米子市
会　派　自由民主党

問 ロードバイクのレンタルなど、受け入れ体制の整備を行う市町村に対し購入助成などの支援ができないか。

答 県内にロードバイクのレンタル店はない。検討する市町村があれば応分の協力はさせていただきたい。

問 県産木材の競争力を高めるためには乾燥が必須。日数がかかる天然乾燥を行う場合の経費支援ができないか。

答 無利子融資のような形での営業支援を検討させていただきたい。

①ロシア交流 ②高規格道路 ③共生社会の実現に向けて

安田　由毅 議員
選挙区　境港市
会　派　自由民主党

問 ①民間交流の観点から DBS 運航再開に向けた所見②米子境港間高規格道路実現に向け国を動かすのは地元の意思統一。汗をかいていただきたい③ (a) 車椅子タイヤ洗浄機導入を (b) 官民問わず折り畳み式スロープの設置、購入補助制度を。

答 ①交流を継続発展し DBS 運航再開を目指していく②事務手続きを速やかに。高まってきた気運を生かしていく③ (a) 計画中の布勢の施設に設置検討する (b) 有効である。既存制度の周知活動、必要なら予算拡充する。

①リユース食器 ②ゲーム依存症 ③SNS 対策

福浜　隆宏 議員
選挙区　鳥取市
会　派　無所属

問 ①リユース食器（※）を福祉作業所が担えばプラゴミゼロと工賃UP両面で効果。啓発を②中高生7人に1人がゲーム依存の疑い。先駆的な国立久里浜医療センターの調査研究を③ SNS 絡みの事件の抑止を。

答 ①リユース食器の基盤整備という支援もあり得る②久里浜での人材育成、研修参加など関係機関にも促す③逆に SNS を活用した注意喚起の広報なども検討する。（教育長）犯罪を疑似体験できるアプリを活用した学びも検討。

台風19号災害を受けての防災対策

興治　英夫 議員
選挙区　倉吉市
会　派　会派民主

問 多数の河川で、越水により堤防が決壊した。河川整備や避難対策、事業継続（BCP）、病院機能の確保にどう取り組むか。

答 堤防の天端や河川裏側法面の補強などを重点的にやり、必要な河川整備について国に要望する。広域避難は３大河川の流域ごとで検討する。災害弱者対策は、福祉避難所の環境整備に努め、利用施設の避難計画作成を支援する。商工団体と協定し、被災した企業のバックアップ体制をつくる。病院の BCP 作成を進め、広域で医療対処する。

①防災公園・避難対策 ②健康づくり文化創造

西村　弥子 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 ①洪水避難で、米子市観音寺・長砂町「桜の里」・東山町一帯の山など、県下の保安林の山を防災公園のような観点で有効活用できないか②県は地域の保健師・栄養士・食生活改善推進員の薄味奨励活動や民間ともっとコミットし、牽引推進してはどうか。

答 ①人口集積地域で何ができるか、県の立場であるが防災避難対策検討会で検討を深めて参りたい②現場と改めて意見交換し、予算や計画に反映しつつ、「食」の切り口を広げ原点に立ち返りタッグを組んで進めたい。

理屈が通らない処分 白紙撤回すべきでは

伊藤　保 議員
選挙区　東伯郡
会　派　会派民主

問 8月21日、県が事務局を務め、県と関わりの深い畜産の外郭団体で、人工授精師に対して県有種雄牛凍結精液の譲渡停止６ケ月の処分決定と処分内容の公表が行われたが、理屈が通らない処分で、白紙撤回すべきでないか。

答 一通りお伺いし、憤りはある意味共有できる。授精師の責任を問えないところではないかとも思える。詳細について十分把握しているわけでないので、事実関係を精査し、速やかに対応したい。

※ リユース食器：主にイベントなどで使用される再利用可能な食器

一般質問

県内中小企業支援策について

内田　隆嗣 議員
選挙区　米子市
会　派　自由民主党

問 鳥取県の産業構造を考えるときに、県内中小企業で売上高100億円を超える企業を育成するために、県としても必要な支援策の構築が求められている。県として、何かできることはないか所見を伺う。

答 事業者がプレゼンテーションをやり、ファンドや銀行との交流やマッチングを兼ねたような、投資家と向き合うというような場も確かに必要かもしれませんので、そうした場の検討をさせていただきたい。

農林水産業の振興と政策について

鹿島　功 議員
選挙区　西伯郡
会　派　自由民主党

問 ①担い手農業経営者が新制度でも再申請、機械設備の再取得が可能になる支援を②水稲生産に関連する必要な施設の国事業で対応できない部分を県で補完する体制づくりの考えを問う ③国の8割交付税措置が決定し県養豚場への防護柵設置補助・助成の割合を再考できないか。

答 ①当初予算編成に向け関係機関と相談する②県内JAと県で米作関連施設の再編等についての研究会を開いていく③関係事業者の状況も確認し、制度の立て方等も検討をさせていただく。

公立公的病院、淀江産廃、災害対策、奨学金

市谷　知子 議員
選挙区　鳥取市
会　派　無所属

問 ①公立病院再編統合リスト撤回②不採算地域医療交付税総額の継続③境港済生会病院改修費支援④水源地に汚水が流れる危険性を指摘する吉谷先生を淀江産廃地下水調査委員に。知見の紹介を⑤千代川決壊を想定した確実な住民避難の検討⑥段ボールベット等連携備蓄品到着時間の短縮⑦運輸業を奨学金返済助成する未来人材基金の対象に。

答 ①撤回すべき②充実を要望③必要に応じ検討④委員は対象外。知見は幅広く収集⑤取り組む⑥確認する⑦話があれば対応。

政治で一番大切な事は儲ける事？幸せ度増？

山川　智帆 議員
選挙区　米子市
会　派　無所属

問 産廃の反対・賛成に拘らず、地下水等が安全かどうかが重要。そこで知事に具体的に提言する。H25事業者作成の生活環境影響評価書に産廃「計画地の地下水は北北東に流れると結論した」と記載がある。多くの県民は北北東に位置する水源地への影響を懸念する。H26地下水流向調査の調査範囲は狭く水源地は含まれない。三輪山の清水・福井水源地を含む広域的な調査の実施を求める。見解を問う。

答 水源地を含める事は、当然入ると思う。調査会に伝える。

鳥取よいとこ運動・小学校英語・駅前活性化

尾崎　薫 議員
選挙区　鳥取市
会　派　会派民主

問 ①若者が鳥取に定着する対策が要る。子育て制度、自然、治安が良い、人と地域の繋がり、小ささが武器など鳥取には沢山良い点がある。知事と親・大人が共有し発信する運動を②各校に外国語専任教員配置を③大丸駅前計画にイベント支援も必要。

答 ①行動を起こし少子高齢化の状況に変化を呼び起こす運動につながるよう考えてみる②（教育長）国では一部教科担任制の議論もあり、定数改善も含め要望していく③ソフトで盛り上げることも考える。

児童精神科について児童相談所について

坂野経三郎 議員
選挙区　鳥取市
会　派　会派民主

問 児童精神科①受診まで最低1か月待たねばならない現状への対応②島根県にあって鳥取県に無い県立児童精神科病棟の必要性③自死願望等、緊急入院が必要な子どもへの対応が不十分。

答 ①町医者と役割分担をする等、対応を協議②入院できる環境についても関係者と協議③精神保健法により、措置入院や緊急保護入院という仕組みがある。

問 虐待のあった家庭へは、児童相談所のフォローだけではなく、社会全体で支えてはどうか。

答 体制強化をしっかりとやる。

一般質問

消防防災航空隊防災ヘリの夜間運航体制

由田　隆 議員
選挙区　倉吉市
会　派　無所属

問 運航規定・運航要領においては、平成12年10月の西部地震の教訓を生かし、夜間の大規模災害に対応するとなっている夜間の緊急運航に対する体制はどうなっているのか。

答 夜間の緊急運航については、西部地震の教訓も踏まえて、市街地、海岸線等、有視界飛行で緊急運航としているが、防災ヘリが万が一、木に接触すれば重大事故につながる。現在、隊員の安全性を考え夜間の緊急運航は行っていない。

介護職員等特定処遇改善加算の取得取組推進

濵辺　義孝 議員
選挙区　鳥取市
会　派　公明党

問 介護職員の職場の環境改善、賃金の改善、離職ゼロを推進する為に、介護職員等特定処遇改善加算取得推進に取り組むべきと考える。県内の特定加算の取得状況は、対象事業所の48.2%である。加算取得推進への取り組みについて知事に問う。

答 このたびの特定処遇の加算ついては、きちんと普及すれば、更に処遇改善に繋がるところが出てくる。貴重な財源を、施設のほうでも活用できるように、説明会、個別の訪問をすることで一層の普及を推進したい。

本県の環境政策と子ども食堂へ支援の継続を

広谷　直樹 議員
選挙区　岩美郡
会　派　自由民主党

問 ①鳥取県環境基本計画が策定後20年経過した。この間の県の取り組み成果は②県内の一般廃棄物排出量は全国的に見ても多い。排出量削減の県の取り組みは③子ども食堂の実態調査と来年度以降の支援策の検討は。

答 ①レジ袋廃止、自然エネルギー活用の増加、廃棄物リサイクル率アップなど様々な成果があった②事業所からの排出が課題。食品ロス削減に業界団体等とマッチングできるシステムを進めていく③運営実態を把握し、市町村と相談しながら応援していく。

災害時の工事請負、沿岸漁業、今後の造林

中島　規夫 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 現在、入札不調が多いが、災害工事に関して受注減点を見直すべき。サメ被害に困っている沿岸漁業対策と令和2年以降の稚貝放流支援。皆伐再造林に向けた高率の植栽経費対象樹種を拡大すべき。

答 災害復旧工事のやり方は違って良いかも。業者の意見も聞いて検討する。サメ対策は、漁協と相談して支援を考える。稚貝放流支援は、令和2年の予算の中で相談させていただく。林業関係者の意見を伺い制度の改善を検討していく。

全ての子どもの学習権を保障するために

川部　洋 議員
選挙区　倉吉市
会　派　自由民主党

問 障がいのある子もない子もすべての子どもが一緒に学ぶ大阪市立大空小学校のような「みんなの学校」をつくるために、県教委がすべきことは何か、現場に対してどのような支援が考えられるか。

答（教育長）共生社会に向けたインクルーシブ教育について、教職員、保護者、県民へと共通理解を広げるやり方が適当。また学校の中のチーム体制、学校を支えるバックアップ体制も必要だと思っており、具体的にどんな手法があるのか、実際に大阪市立大空小学校を見て検討したい。

防災、ICT教育、Society 5.0など

藤井　一博 議員
選挙区　東伯郡
会　派　自由民主党

問 ①頻発する災害への備えとしての防災対策、Society5.0時代到来を受けたICT教育の環境整備など、令和2年度予算について積極的な予算編成を求む②財政誘導目標の提示方法を分かりやすくしては③ICT活用教育推進ビジョンを改定しては。

答 ①防災対策、子どもたちの未来、子育て対策に重点的に財源を確保し積極型の予算編成を目指す②県民の皆様にお分かり頂けるよう工夫して提示する③（教育長）来年度の策定を目指し、スピード感をもって臨む。

一般質問

議会を傍聴しませんか
本会議、委員会などの会議はどなたでも傍聴できます。
議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

災害弱者への対応 栄養教諭へ任用替え他

浜田　妙子 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 ①災害弱者早め避難のため、防災リーダー養成や地域力充実に防災キャンプ等支援を②共生社会鳥取に向けパラアスリートを活用し、街中チェックを③子どもの食育環境充実と個別対応強化のため、学校栄養職員を栄養教諭に任用替えし、100%栄養教諭に。

答 ①基礎応用２つのリーダー養成を強化。地域に役立つ防災キャンプ等もしっかり応援する②今後議論する。モニターとしての活用は可能③（教育長）現場の意見をよく聞き将来のあり方を総合的に点検・検討する。

県民と共に創る とっとり創生と共生社会

浜崎　晋一 議員
選挙区　鳥取市
会　派　自由民主党

問 県内企業の後継者不足は鮮明になっており、円滑な事業承継に向けて、県内金融機関との連携をさらに深化させるべき。

答 行政ではできない人材のマッチングについて、新年度に向けて金融機関とよく協議する。

問 障がい者スポーツの拠点施設整備に併せて、障がいのある方がその特性に合ったスポーツを楽しめるような指導人材の育成・確保が必要ではないか。

答 新年度に向けて更に強化できるよう、様々なプログラムを当初予算で検討する。

ヒトとモノの今後の可能性について

浜田　一哉 議員
選挙区　境港市
会　派　自由民主党

問 ①境夢みなとターミナルと江島大橋を結ぶ幹線道路の調査状況と結果を問う②夢みなとタワーのエレベーターの無料化やストリートピアノの設置などをし、賑わいの拠点とすべき。

答 ①渡公民館前の交差点、大根島入口の交差点がクランク状になるため、渋滞が発生しやすくなっている。今年度、詳細設計して、令和４、５年で着工見込み②タワーの指定管理者の募集時にコンテストをしていく。ターミナル管理者ともエリアの賑わいについて協議していく。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

会派正式名称

【自由民主党】
鳥取県議会自由民主党

【会 派 民 主】
会派民主

【公　明　党】
公明党鳥取県議会議員団

議事録の全文は、
県議会ホームページから
ご覧になれます。

鳥取県議会　検索

※掲載に時間がかかる場合があります。

特別天然記念物 オオサンショウウオの保護

福間　裕隆 議員
選挙区　西伯郡
会　派　会派民主

問 県内の河川に生息するオオサンショウウオを調査し、日本本来のもの、チュウゴクオオサンショウウオ、交雑個体の存在確認など、生息分布の実態把握をすべきである。そして、保護管理指針の策定が必要だ。

答 実態把握の調査は、市町村の協力も得ながら進めるということで検討する。ある程度、実態を把握した上で、交雑種対策、保護に向けた住民活動との連携などを含めた新しいタイプの鳥取型の管理方針を考えてみたい。

地下水調査会の信頼性について

森　雅幹 議員
選挙区　米子市
会　派　会派民主

問 知事は中立公正な地下水調査会を強調し、白紙もあり得ると発言した。一方で環境管理事業センターが自治会と施設設置を前提とした振興計画を進めることは、この調査会が住民に信頼されないのではないか？

答 センターに予算執行停止をかける必要はないのではないか。ただ、ストップをかけられないと見られてもいけない。趣旨はセンター側にも伝える。当初予算の段階で協議するが、皆様の同意を得た上でセンターの活動範囲を検討したい。